

# 「つなぐプロジェクト」(仮) の内容案

## 1. 取り組み

### ① 教育分野との連携

- ア：幼稚園等と福祉施設の連携による体験型事業
- イ：小中学生を対象にした体験型研修プログラム

### ② 文化・スポーツ分野との連携

- ア：福祉施設で利用者と一般の人がともに楽しむ音楽祭
- イ：障がいのある人とない人が共同で完成させるアート作品
- ウ：障がい者スポーツを通じた交流体験

### ③ 地域との連携

- ア：公民館事業への障がい者参加を増加させ一般参加者との交流を促進
- イ：公民館事業の各種講座に障がい者理解促進プログラム

### ④ 農業分野との連携

- ア：障がい者が農業イベント等に参加し、農作業や収穫、調理して実食までを地域の人とともに体験する

### ⑤ 障がい福祉施設との連携

- ア：受託作業や日常活動を一般ボランティアとともに実施
- イ：施設のPRブースを一般向けの各種イベントに出店

### ⑥ 一般企業との連携

- ア：条例研修受講認定制度の創設で受講企業の増加を図る
- イ：業種ごとの合理的配慮・改善事例集の作成・公開

## 2. 広報

### ⑦ プロジェクトロゴ

障がい者アートによるロゴを作成し各取り組みで活用

### ⑧ 啓発動画

障がい特性を伝える動画を作成しイベント等で活用

### ⑨ マスコット

共生のシンボルキャラクターを公募し各取り組みで活用

### ⑩ 市報等・マスメディア

各取り組みを市報等を最大限活用して広報するほかTV・新聞等に取り上げてもらうよう積極的に働きかけ

### ⑪ 屋外広告

公共交通機関などを利用した条例の周知(車両ラッピング, 車内広告等)

## 3. 条例研修の内容強化

### ⑫ 障がい当事者の講師開拓

現在、市職員や基幹相談支援センター職員が中心となって条例研修を行っているが、障がいのある人がどんな場面で困っているか、どんな配慮が必要かなど、当事者から直接伝えてもらうことは効果大きい。

研修講師として活躍して下さる人材を開拓する。

### ⑬ 企業向け研修内容の開発

一般企業が研修を受けるメリットを拡大するため、業種別に盛り込む内容にバリエーションを持たせ、より適した内容で研修を行う。

⑥の取り組みと連動させる。

## 4. その他

### ワーキンググループの構成イメージ

区分	担当分野	メンバー (事前回答のあった団体のみ)
グループA	① ② ③ ④	にいがたオーティズム にいがた温もりの会
グループB	⑤ ⑥ ⑫ ⑬	障がい福祉サービス事業管理者連絡会 労働局 視覚障害者福祉協会
グループC	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	弁護士会 新潟大学 新潟SCDマイマイ

※ 表に記載のない団体にも、別途個別に参加を呼びかけさせていただきます

※ 検討に必要な場合、委員の所属団体以外から参加していただく可能性があります

※ 全てのグループに障がい福祉課、市の関係課が入ります